

令和4年11月14日

大阪市城東区役所

社会医療法人 大道会 森之宮病院

独立行政法人 都市再生機構 西日本支社

大阪公立大学



## 森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念をふまえた まちづくりに関する協定を締結

～自宅で安心して暮らす！「健康・医療・介護」を体験できるモデルルームを公開～

大阪市城東区役所、社会医療法人 大道会 森之宮病院、独立行政法人 都市再生機構（以下「UR 都市機構」）、大阪公立大学は、森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念をふまえたまちづくりに関する協定を令和4年10月31日に締結しました。（詳細は次項を参照）

その取り組みの第一弾として、UR 都市機構 森之宮第2団地（大阪市城東区）に社会医療法人 大道会と大阪公立大学が協力・監修した自宅で安心して暮らす！「健康・医療・介護」を体験できるモデルルームを公開します。ついては、報道関係者を対象とした説明会及び内覧会を以下の通り開催しますのでご案内します。尚、一般公開は後日別日を予定しております。

### ■協定締結に伴う4者共同での説明会・モデルルーム内覧会について

《開催日》 令和4年11月29日（火）13時10分～

《集合会場》 森之宮第2団地8号棟集会所（大阪市城東区森之宮二丁目）

《申込方法》 令和4年11月21日（月）までに下記申込先まで電話でお申し込み下さい。申込時には、社名、ご来場者氏名をご連絡ください。  
（注）一般の方はお申込み頂けません。

《申込先》 UR 都市再生機構 西日本支社 総務部 総務課（広報）06-6969-9008  
（土日祝を除く、月曜から金曜日までの10時から17時まで）

### 《留意事項》

- ・当日は受付を集合場所において12時50分から開始いたします。
- ・取材中は必ず自社腕章、社員証（記者証）、又は「市政記者カード」のいずれかを見やすいところに着用してください。腕章等を着用していない方の取材はお断りすることがありますのでご注意ください。
- ・説明会・内覧会中は、職員の指示に従っていただくなど、ご協力をお願いします。
- ・当団地には来客用駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ・当団地には居住されている方がいますので取材には、配慮をお願いいたします。
- ・集合会場および当モデルルーム以外での取材はお断りします。

※モデルルームの詳細については、別添資料①をご参照ください。



転倒予防・介護予防のお部屋



介護・医療のお部屋



認知症を知るお部屋

### 【協定に関するお問い合わせ】

大阪市城東区役所 保健福祉課（電話）06-6930-9058

社会医療法人 大道会 森之宮病院 医療相談室（電話）06-6969-8730

UR 都市再生機構 西日本支社 大阪エリア経営部 企画課（電話）06-6346-3416

総務部 総務課（広報担当）（電話）06-6969-9008

大阪公立大学 総務課（電話）072-254-9104

### 【協定締結の背景】

大阪府市医療戦略会議提言（平成 26 年 1 月）において示されたスマートエイジング・シティの実現に向け、城東区森之宮地域では平成 27 年 11 月に城東区・大道会・UR都市機構の 3 者で森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念をふまえたまちづくりに関する協定を締結し、孤立化防止ネットワーク会議等様々な取り組みをしてきました。

今般、令和 7 年度に森之宮地域に大阪公立大学が森之宮キャンパスを開設予定であることから、森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念をふまえたまちづくりに関する協定に大阪公立大学を加え、連携事項を刷新し再締結するものです。

### 【協定の目的】

4 者が各々の役割に基づき、森之宮地域において地域包括ケアシステムの拡充、生活支援、住民の見守り、都市防災またはヘルスケア分野のサービス充実等に取り組み、「健康寿命の延伸」、「生涯にわたる QOL の向上」及び「安心して最期まで住み続けられる創造的な生活環境」を実現するまちづくりにつなげることを目的とします。

### 【本協定に基づく主な連携事項】

- ・地域コミュニティの活性化、地域包括ケアシステムの拡充に資すること
- ・地域リハビリテーションの推進、生活支援分野におけるサービスの充実に関すること
- ・健康寿命延伸のためのヘルスケア分野におけるサービスの充実に関すること
- ・防災・減災に関すること
- ・ICT 利活用の促進及び、持続可能なまちづくりに関すること
- ・多世代が暮らす魅力あるまちづくりに関すること

### 【自宅で安心して暮らす！「健康・医療・介護」を体験できるモデルルームの概要】（詳細は別添資料①）

ICT を活用した介護予防や転倒予防、介護する人される人にもやさしい新しい介護・医療の在り方、初期の認知症の方への理解・接し方・対応などを体験できるモデルルームです。

モデルルームは下記 3 つの部屋で構成されています。

- ・転倒予防・介護予防のお部屋：大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科監修
- ・介護・医療のお部屋：社会医療法人大道会在宅事業部監修
- ・認知症を知るお部屋：大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科監修

#### <SDGs への貢献>

本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における下記目標に貢献しています。

- 目標 3 すべての人に健康と福祉を
- 目標 11 住み続けられるまちづくりを



自宅で安心して暮らす！「健康・医療・介護」を体験できるモデルルーム

ICTを活用した介護予防や転倒予防、  
介護する人される人にもやさしい新しい介護・医療の在り方、  
初期の認知症の方への理解・接し方・対応などを体験できるモデルルームです。



～各お部屋のご紹介～

**転倒予防・介護予防のお部屋** 【大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科監修】

- ・家具の置き方の工夫でできる転倒予防と ICT を活用した介護予防など次世代の住まい方を提案
- ・簡単に手に入る転倒予防グッズを紹介、スマートウォッチを用いた健康状態の可視化の体験も可能







